

博士課程前期課程商学研究科 専門職コースの履修について

1 履修指導について

下記のとおり指導教員ごとに教室に分かれて履修指導を実施します。各自指定された場所に集合してください。

日 時：4月2日（水）11時50分～

- 場 所：◆第2学舎 C202 教室（マネジメント）…陶山、廣瀬、矢田
◆第2学舎 C203 教室（国際ビジネス）…小井川、高橋、吉田
◆第2学舎 C204 教室（会計）…笹倉、水野
◆第2学舎 C205 教室（ファイナンス）…辻

[敬称略]

2 課程修了要件

(学則第24条)

博士課程前期課程に2年以上在学し、当該研究科所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、当該課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格した者をもって、その課程を修了したものとする。

3 課程修了所要単位

(学則別表(第13条関係)[平成26年度「大学院要覧」P.59])

専修科目4単位(講義Ⅰ・Ⅱ計4単位)、課題研究指導Ⅰ・Ⅱ計4単位、ベーシック科目4単位及びメソッド科目4単位並びに所属する系※の講義科目8単位を含めて32単位以上を修得しなければならない。

※「所属する系」とは、各自の専修科目が属する系のことを指します。

例)「経営システム論研究Ⅰ・Ⅱ」が専修科目の人は、「戦略マネジメント系」が所属系となります。

4 履修登録

別紙「履修登録について」及び「履修登録ガイド」を参照のうえ、下記登録期間内にパソコンから履修登録を行ってください。

なお、授業科目の選択にあたっては、事前に指導教員の指導及び承認を必ず得てください。

また、登録期間後の履修変更は、原則として認められません。

履修登録期間：平成26年4月2日（水）～4日（金）9：00～23：30

※「英語コミュニケーションⅠ」は全員履修しなければなりません。(本日のプレイスメントテストでクラス分けを行うので、4日の9：00にWEB履修画面に反映します。○金2・3限のどちらかになります。)

※「日本語アカデミックライティングⅠ・Ⅱ」は、留学生は全員履修しなければなりません。ただし、大学院要覧P.59にも記載があるとおり、「日本語アカデミックⅠ・Ⅱ」は2単位を超えて修了所要単位に算入することはできません。つまり、「日本語アカデミックⅠ・Ⅱ」とも履修する場合、M2の際に講義科目が2単位残ります。その点を了承していただいたうえで履修してください。なお、指導教員の履修指導によって、「日本語アカデミックⅠ」を履修しない場合は、原則「日本語アカデミックⅡ」のみを履修していただきます。その場合は、4月3日17：00までに教務センター商学部窓口に出してください。(本日のプレイスメントテストでクラス分けを行うので、4日の9：00にWEB履修画面に反映します。○×金4・5限のどちらかになります。(なお、初回授業4月11日（金）は4・5限合同で行うので、4限にカンファレンスルームに集合してください。USBを持参してください。)

(ご参考)日本語アカデミック・ライティングの授業内容について

「Ⅰ」では、レポート・論文作成法の基礎全般を広く扱い、学術的文章に共通する執筆上のルール of 熟知と遵守の学習に力点を置きます。

「Ⅱ」では、半期では扱えなかった、専門分野の論文に即した、執筆に有用な、より高度な作文力の錬成を目指します。特に、初年度の実践からも必要性が確認された参考文献からの引用を用いた議論の展開方法などを、より具体的に学びます。

5 履修登録に関する注意事項

① 履修制限単位について（大学院規則第5条）

1 学年度に認められる履修単位は、**28 単位以内**です。できる限り制限単位を履修してください。

なお、修得単位数が 20 単位以上なければ、2 年次秋学期に「課題研究論文」を提出することはできません。

② 課題研究指導の履修について

課題研究指導 I・II は 2 年次配当です（大学院規則第 1 条第 4 項）。

また、課題研究指導 I・II は、あらかじめ指導教員の担当する講義 I・II を修得していなければ、履修することができません（※並行履修不可）（大学院規則第 2 条第 5 項）。

したがって、2 年次で課題研究指導 I・II を履修するためには、1 年次に指導教員の担当する講義 I・II を履修し、単位を修得する必要があります。

③ 外国語学力確認について（関西大学学位規定第 9 条）

専門職コースの学生は、博士課程前期課程を修了するにあたり、外国語学力に関する認定に合格する必要があります。

認定の方法は、以下の 4 つのうちいずれか 1 つです。ただし、英語を母語・母国語とする者は、(2) より外国語の学力確認を行います。指導教員と相談のうえ、決定してください。

(1) 「英語コミュニケーション I・II」のうち、いずれか 1 科目（2 単位）を修得していること。

(2) 課題研究論文において、母語・母国語以外の外国語の文献を引用ないし参照していること。なお、その文献について、各院生の母語・母国語での翻訳書がないことを前提とする。

(3) 2 年以内に取得した TOEFL iBT(Internet-based testing)のスコアが 69 点以上であること。

(4) 2 年以内に取得した TOEIC のスコアが 650 点以上であること。

ただし、課題研究論文の計画書を提出する際、証明する書類の原本を提出してください。

④ 研究者コース配当科目について

専門職コース所属の院生が研究者コース配当の「演習」及び「論文指導」を履修することはできません（大学院規則第 3 条第 4 項）。

⑤ 追加科目について

指導教員の許可を得たうえで、他研究科若しくは他大学院の授業科目を「追加科目」として履修することができます。

また、指導教員が当該学生の研究上特に必要と認めたときは追加科目の単位を課程修了所要単位に充当することができます。

詳細は、別紙「履修登録について」を参照してください。

なお、「追加科目」を修了所要単位に充当させる場合は、「履修登録ガイド」裏面「ウ 追加科目（大学院共通科目を含む）を修了所要単位に充当する方法」を必ず確認してください。

⑥ 関西四大学単位互換履修制度について

別紙「履修登録について」を参照してください。

6 課題研究論文執筆について

別紙「研究論文執筆要領（関西大学大学院商学研究科）」を参照してください。

7 その他

休講、試験・レポートに関する連絡、呼出しやお知らせ、行事案内等は、原則インフォメーションシステムにて行います。各自、必ず確認するようにしてください。